

ソフトバンク急反発

携帯会社年内上場と報じられる

券取引所第1部に上場させる方針を固めた。報じたことが材料視された。年内の上場に向け東証などと近く本格的な調整

15日、週明けは2兆円程度で、過去最大規模の新規株式公開（IPO）になる見込み。財務体質の悪化を避けつつ、調達した資金を新たな成長分野へ投資すると伝えていいる。報道に対してソフトバンクグループは立ち合い開始前に「資本政策に関するさまざまな選択枝を検討しており、ソフトバン

今週の動意銘柄

15日、北の達人コーポレーション（2930）がストップ高で新値。18年2月の単体業績予想の修正を発表、売上高は52億8100万円（前期比95・8%

増）で据え置いたが、営業利益を7億7700万円から14億1600万円（同2・6倍）へ、純利益を5億3300万円から9億6500万円（同2・7倍）へ上方修正、期末配当を2円から4円50銭（前年同期6円50銭）へ引き上げた。新規獲得能力の大幅な増強と効率性の向上が想定を上回る。

ヒトコム売上急増も減益

15日、ヒト・コムユニケーションズ（3654）が急落。18年8月期第1四半期の連結決算は売上高157億9800万円（前年同期比2・1倍）と売り上げが急拡大したものの、営業利益は7億100万円（同1・3%減）と微減益で着地したことが失望売りを誘った。

一部クライアント企業で収益性の高い案件の受注が減少。2Q計画の営業利益17億6600万円（同15・7%増）に対する進捗は44・2%となっている。

フブラザー49%増益

15日、ファーストブラザーズ（3454）がストップ高で高値更新。18年11月

期の連結業績予想を発表、売上高は22億6800万円（同5増）、営業利益は50億1500万円（同48・7%増）大幅な増収増益を見込んだことが好感された。賃貸不動産などへの投資を積極的に推進するとともに、顧客に質の高いサービスを提供、既存事業のプラットフォームや強みを活用した収益機会も拡大する方針

正直じいさんの株で大判小判

19日の東京市場は上値の重い動きになりました。頭を抑えている為替については再度110円割れになり、方向感が見えない状況で、22日の日銀会合と23日の黒田総裁会見の内容を注視したいと、通貨も暴落の後は上値急変すれば影響があり0円越えはの売りを促すはキツカケ

来週から23日の安川電機（6506）が注目されそうです。好業績相場がスタピックアップ銘柄からネット（38）が上値のフシ目を明確に上抜き、最高値4400円奪回に向かっており、追撃買いを入れたいと思

花咲翁

黒谷はストップ高

16日、黒谷（3168）がストップ高。18年8月期の連結業績予想の修正を発表、売上高を519億9600万円から540億3400万円（前期比2・2%増）へ、営業利益を12億1100万円から15億7500万円（同25・0%減）へ上方修正したことが好感された。主力取扱商品価格に影響を及ぼす銅価格を中心とした非鉄金属価格や為替相場が想定以上に高く推移したことが影響している。

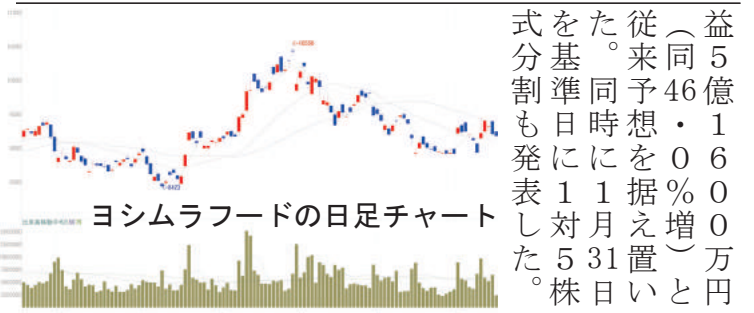


ヨシムラフードがS高

M&A効果で3Q大幅増収益

16日、ヨシムラ・フード・ホールディングス(2884)がストップ高。18年2月期第3四半期累計の連結決算を発表、売上高は150億1800万円(前年同期比29・4%増)、営業利益は4億8600万円(同20・8%増)、純利益は4億2900万円(同2%増)と大幅増収増益となった。新商品開発や販路拡大などの取り組み、M&Aで水産加工業のヤマニ野口水産をグループ化したことも寄与している。

通期は売上高196億8700万円(前期比21・2%増)、営業利益6億4800万円(同31・5%増)、純利益5億1600万円(同46・0%増)と従来予想を据え置いた。同時に1月31日を基準日に1対5株式分割も発表した。



メデアードウHD低進捗

16日、メデアードウホールディングス(3678)が急反落。18年2月期第3四半期累計の連結決算は、最終利益3億900万円を着地した。連結決算の計上は3Qから前年同期との比較はないが、通期予想の5億7700万円に對する3Qの進捗率は53・6%にとどまり、計画未達成を警戒した売りに押された。同社はデジタル機構を子会社化、新設承継会社としてメデアードウを設立し、3Qからその他6社を連結対象とした。

星光はCNF商業生産

16日、星光PMC(4963)が急騰、一時ストップ高まで買われ昨年来高値を更新した。セルロースナノファイバー複合材料の商業生産を開始したと発表

したことが好感された。昨年末に竜ヶ崎工場(茨城県龍ヶ崎市)にあるセルロースナノファイバー(CNF)実証生産設備(パイロットプラント)の生産能力増強工事を完了させ、「STARCEL」ブランドでCNF複合材料の商業生産・出荷を開始。現時点での生産能力は変性セルロースで約7031・5%トン/年、CNF複合材料換算で約200トン/年となる。

東レ(3402)

企業観察

最高業績更新へ順調

東レ(3402)は18年3月期通期計画の連結売上高2兆200億円(前期比9・6%増)、営業利益1650億円(同12・3%増)達成へ順調な進捗状況となっている。

第2四半期は高収益事業の炭素繊維複合材料の出荷が本格的な回復に至らなかったものの、この期として最高益を達成した。2Qの収益をけん引したりチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレーターフィルムが引き続き伸びているほか、スマホなど電子部品向けなど機能化成品が好調を持続、安定収益事業の繊維もエアバッグを

成長投資で来期収益拡大加速

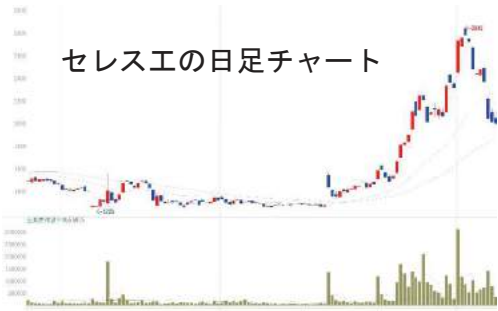
はじめ自動車分野や衛材用不織布が堅調で「低調だった衣料用も復調してきた」(広報)という。

今期は最高業績更新が確実とみられるが、現在進めている中期計画では20年3月期に連結売上高2兆7000億円、営業利益2500億円を目標に掲げ、成長分野への積極投資を断行しており、来19年3月期から収益拡大が加速する見込み。バッテリーセパレーターフィルムの生産能力を3倍に引き上げるほか、衛材用不織布増産で中国、インドの新興市場を開拓、炭素繊維も「年度内の回復にメドが立っている」(同)。

GMOPG急騰し最高値

17日、GMオペイメントゲイトウェイ(3769)が急騰、上場来高値を更新した。

16日に総合決済サービス「PGマルチペイメントサービス」において、Googleのオンライン決済サービス「Google Pay API」を追加し、1月末よりEC事業者へ向け提供を開始すると発表した。PGマルチペイメントサービスは、複数の決済手段や機能を一つの管理画面で一元管理できるだけでなく、決済手段ごとの締め日や入金日が統一できると、入金管理の手間も軽減できる。



仮想通貨軒並み売り

主要通貨やアルトコインが暴落

ト(3825)など
 仮想通貨関連株が軒
 並み売られた。
 ビットコインなど
 の主要通貨やアルト
 コインが日本時間の
 16日夜に最大40%以

セレス(17日、369)
 MOIN(6日、94)
 ターネ(4日、94)
 ト(9日、4)
 フイスコ(3日、80)
 リア(3日、80)
 リア(3日、80)
 リア(3日、80)
 リア(3日、80)
 リア(3日、80)
 リア(3日、80)

18日、ヨコオ(6800)が急伸、ストップ高まで買われ2日ぶりに昨年来高値を更新した。国内大手証券が5G関連銘柄として位置づけ投資判断と目標株価を引き上げたことで、一気に買い気が強ま

ヨコオはストップ高で新値

つた。コネクティッドカー、自動運転の実現、高周波数帯域の利用は大きなビジネス機会になるとしており、20年3月期は19年ぶりの最高益更新、22年3月期営業利益は51億円と年率15%超の利益成長

三菱電機は物体認識技術(6503)が3連騰、最高値を更新した。この日、業界最高性能となる車両後測方の物体を100m程度の遠方から早

三菱電機は物体認識技術

上暴落したことが嫌気された。中国や韓国などでの仮想通貨規制が売りを加速させ、狼狽売りも下るが、仮想通貨に流れており、マーケット的には新規資金も流れており、成長過程だけに沈静化後には出直るとの見方もある。

ダイヤモンド電S高

17日、ダイヤモンド電機(6895)がストップ高。名刺サイズで薄型の絶縁

期にカメラで認識する「電子ミラー」向け物体認識技術を開発したと発表した。接近する物体を早期に検出すると同時に種類を識別し、ドライバーに注意を促すことで車線変更時などの事故防止に貢献する。

18日、ファルテック(7215)が急反落。17年3月期の棚卸資産評価と中国子会社の売り上げ計上について不適切な会計処理が行われたと発表されたことを嫌

ファルテック不適切会計

率を見込んでいた。器の小型・軽量化が可能になり、電気自動車やスマートグリッドの普及に貢献する

日米共に天井シグナル点灯

NYダウは1月4日に初めて2万5000ドル台に乗せてからわずか7営業日で2万6000ドル台へと史上最速で大台変えする急上昇となりました。しかし、16日と18日に上放れて寄り付いた後失速し、前日の陽線に陰線が差し込みました。差し込み線二本となったことで天井シグナル発生です。

一方、日経平均は16日に急騰し翌日は16日の値幅内での小動きとなる孕み線を形成。18日に1991年11月以来26年2カ月ぶりで24000円台に乗せましたが、その後は値を消す展開となり、2日間の陽線を陰線で包みました。酒田五法では陽の陽孕みの一旦手仕舞いから、18日の包み足で売り建てに転ずる局面に入ったという解釈になり天井打ちサインです。

年明け以降順調に上昇してきましたが、転機を迎えていると思われま

日々勇太郎



18日、アクロディア(3823)がストップ高。中国最大の決済

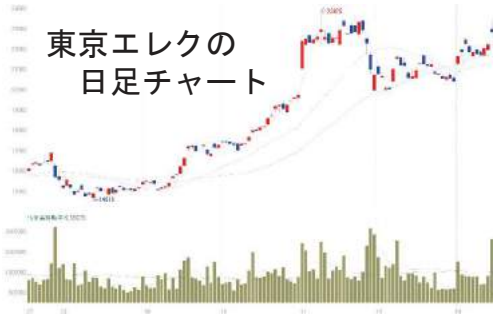
アクロディアはアリペイ提供

サービスマネジメント(アリペイ)の提供を開始すると発表されたことが材料視された。同社と子会社の渋谷肉横丁がインターネット決済代行のユニヴァ・ペイキャストとパートナー提携、渋谷肉横丁の旗艦店の渋谷ちとせ会館への中国人観光客の集客力を高めるなど、インバウンドビジネスとのシナジーによる事業展開が見込めることから、アリペイがサービスマネジメント

半導体関連が大幅高

SOX指数急上昇で人気波及

米国市場で半導体関



18日、東京エレクトロン(8035)、SCREENホールディングス(7735)、アドバンテス(6857)、SU-MCO(3436)、ROOM(6963)など半導体関連が大幅高。蘭ASLMが大幅増収増益決算を発表したことや米アップルが大型投資の計画を発表したこと、を好感して、前日の

任天堂6連騰で高値 ニンテンドー ラボ発売が刺激

週末19日、任天堂(7974)が6連騰、昨年来高値を更新した。新商品「ニンテンドーラボ」(ニンテンドー

ラボ)を4月20日から発売すると発表した。「Nintendo Labo」は、「つくる、あそぶ、わかる」という新しいコンセプトをもとに開発された、あそびの発明キット。「バラエティキット」と「ロボットキット」という2つのキット

連銘柄で構成されるSOX指数が約3%高と大幅に上昇したこと、海外関連株高の流れが波及。世界的な半導体需要の

で発売され、それぞれにNintendo Switch用ソフトと段ボールシートやヒモなどが入っている。

津田駒61%営業増益

19日、津田駒工業(6217)が急騰、昨年来高値を更新した。18年11月期の連結業績予想を発表、売上高は420億円(前期比5.8%増)、営業利益は10億円(同60.8%増)、純利益は8億5000万円(同4.6倍)と大幅な増益を見込んだことが好感された。繊維機械事業では、第1四半期はインドの新税制導入に伴う受注の停滞の影響から一時的に売上

拡大で関連銘柄には収益上振れ期待が強く、第3四半期決算発表を間近に控えていることも人気に拍車をかけた。

が減少する見通しなから、引き合いは堅調に推移していることから第2四半期以降は正常化。中国市場もウオータージェットルールの回復やエアジェットルールの案件増加が見込まれる。

ベステラ一転減益に

19日、ベステラ(1433)が急反落。18年1月期の単独業績予想を下方修正したことを嫌気した売りがかさんだ。売上高を57億円から44億円(前期比5.2%増)、営業利益を5億6400万円から3億6000万円(同9.3%減)へ。案件大型化に伴う工事発注までの準備期間長期化や発注時期の遅れで売り上げが計画を下回り、増益から一転減益になる。

今週の動意銘柄

おいしい品質

選べるおいしさQBBベビーチーズ

Quality's Best & Beautiful

六甲バター株式会社
http://www.qbb.co.jp

チャート から読む 騰落銘柄

エイチーム (3662)



昨年12月13日に3330円の高値更新後に調整していたが2600円台を底に下げ止まる動き。18年7月期は1Qで3.3倍営業増益を計上、好実態から25日や50日線奪回へ。

KYCOM (9685)



日足陽転のあと5日移動平均を下値支持ラインに急上昇。当面の目標は昨年来高値530円ながら、14年12月には200円台から900円台へ急騰した経緯があり、出来高漸増で意外高の可能性も。

トレンドマイクロ (4704)



1月9日の高値6710円から一貫した下落基調。50日線を割れたことで次は昨年10月20日の5750円や9月29日の5420円の安値が次の下値メドとなりそう。

MORESCO (5018)



上場来高値2500円に3度目のチャレンジも更新ならず急失速、3Q減益嫌気し一気に25日移動平均を割り込む。日足は陰転、2000円台をキープできなければ週足トリプルトップ形成で一段安へ。

※チャートは日足

潮流

投機筋に隙を見せるな!

断固たる金融緩和政策を市場に示せ



1月第1週(4~5日)の日経平均先物とTOPIX先物の投資部門別売買動向によると、海外投資家(外国人)の買越額は1287億円で、現物株と合わせると6138億円の買い越しとなった。しかし、1月第2週(9日~12日)の日経平均先物とTOPIX先物の投資部門別売買動向によると、外国人は一転して6611億円の売り越しに転じた。約2年1カ月ぶりの大きさだ。昨年、11月半ばから12月にかけて外国人は日本の株を大幅に売り越しており、今年に入ってからの外国人の売買動向が今年の株式市場の方向性を占う上で重要であった。

1月4日の大発会に日経平均は741円高の2万3506円と急上昇して始まった。4日からの3日間で外国人は6138億円も買い越ししており、日経平均の大幅上昇は外国人投資家によるものと分かる。これで今年の日本株式市場も米国同様上昇に勢いづくと思われたが、外国人は一転して1月第2週は6611億円の売り越しとなった。その理由は日銀の金融緩和政策に変化が生じたからだ。9日に日銀は2016年12月以降手付かずだった残存期間10年超25年以下の長期国債の買い入れ金額を減額したのだ。さらに、17年11月以来となった25年超の超長期国債も減額し、為替市場にも大きなインパクトを与えた。



通常は日銀の国債買いオペ(公開市場操作)に

円相場がいちいち反応することはない。しかし、海外では「18年は日銀が長期金利の誘導目標を引き上げるかもしれない」との観測が根強くある中での減額通知とあって、海外マネーが日本株式市場から流出し、1ドル=113円だったドル円が110円10銭台まで急速に円高が進んだ。

一方、米ダウ工業株30種平均は史上初の2万6000ドル台到達と日経平均の上値が重い中、今年に入っても上昇の衰えを見せない。日経平均は米国株高に救われて18日には210円高の2万4084円と2万4000円台の高値を付ける場面があったが、大引けは104円安い2万3763円と下落して終わった。米国株式市場が大幅上昇しても日本の株が上昇しないと投資家心理は弱くなる。日銀は長期国債の減額がこれほどのダメージを与えたと予想していなかったに違いない。黒田日銀総裁は金融緩和維持を明確に市場へ示す必要がある。ヘッジファンドなど投機筋に隙を見せてはならないのだ。

潮流銘柄はJESCOホールディングス(1434)、Mipox(5381)、HANATOUR JAPAN(6561)。



岡山 憲史氏 株式会社マーケットバンク 代表取締役のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテント「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。 <http://marketbank.jp>

国債オへ減額予想外のダメージ

仮想通貨シヨック峠超える

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

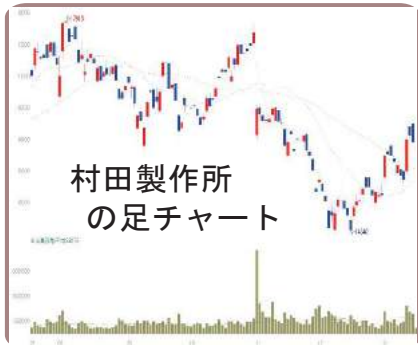
海向きのニューヨーク株式市場は連日、絶好調の上げが続きましたが、日本のマーケットはその勢いに乗れず、低迷した一日でした。

この欄を執筆している18日は寄り付きこそ円相場が1ドル111円、米国高を好感して日経平均が2000円を超え、2万4000円を突破したのですが、それ以後は次第に全般的に値を消し、後場には一段と冷え込む展開になり、結果として100円を超す下落となりました。

実態無視された株式相場

原因はいきつくとところ仮想通貨の暴落にあります。16日夕のビットコイン170万円が17日深夜に98万円までほぼ半値となりました。この結果、レバレッジ取引を利用して投資家が担保を飛ばすだけでなく、損失を埋めることができなかつたために保有する株式を売却せざるを得なくなり、広く処分売りがでたといえます。それが17、18日に影響を与えたといえるでしょう。この影響を受けなかつた超値力サ系だけが値を保つたことになり、世界的に規制が広がりをみせたことで不安心理が広がったの暴落でした。

学(4) 18 (3)、住友化学(4) 00 (5)な どはこれ以上 の下値 不安は 乏しく、下落場面があれば注目すべきです。富士通(6702)も800円割れ目前ですが、割り込んだところは勇気をもって拾うところでしょう。野村ホールディングス(8604)は折角、750円台に乗せる動きが出たにもかかわらず、その後は引けにかけて一貫して上げ幅を縮小し、ついには前日の寄り付き付近まで売られ、かろうじて730円キープして終えました。完全に仮想通貨シヨックの影響でした。しかし、売り一巡感ができたことで仕切り直しとなり、戻す可能性が高いといえるでしょう。村田製作所(6981)は連騰の後、一服しましたが、この押しは魅力を感じます。



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
これでどや!!
http://www.kabun-takano.com/
毎日情報を配信中!

今週の

活躍期待銘柄



ヨシックス (3221)

26%営業増益も上振れ期待

ヨシックス(3221)は昨年12月22日に4295円の最高値更新後に調整していたが、50日移動平均線で下げ止まる動きとなってきた。名古屋地盤の居酒屋チェーンで、お好み焼き・鉄板居酒屋「や台や」、280円均一の低価格居酒屋「ニパチ」や職人握り寿司居酒屋「や台ずし」など多業態を展開している。「や台ずし」業態を中心に新規出店を積極化、原材料価格の高騰や人材需給の逼迫などによる経費増を吸収し、18年3月期は第2四半期累計(4~9月)の連結営業利益で7億9000万円(前年同期比37.8%増)と大幅な増益を達成。12年度の月次売上高では全店で前年同月比27.9%増、既存店で同2.9%増と好調に推移しており、通期予想の14億3800万円の5%増は上ブレが期待される。(と)

ヨシックス(3221)は昨年12月22日に4295円の最高値更新後に調整していたが、50日移動平均線で下げ止まる動きとなってきた。名古屋地盤の居酒屋チェーンで、お好み焼き・鉄板居酒屋「や台や」、280円均一の低価格居酒屋「ニパチ」や職人握り寿司居酒屋「や台ずし」など多業態を展開している。「や台ずし」業態を中心に新規出店を積極化、原材料価格の高騰や人材需給の逼迫などによる経費増を吸収し、18年3月期は第2四半期累計(4~9月)の連結営業利益で7億9000万円(前年同期比37.8%増)と大幅な増益を達成。12年度の月次売上高では全店で前年同月比27.9%増、既存店で同2.9%増と好調に推移しており、通期予想の14億3800万円の5%増は上ブレが期待される。(と)

新規出店加速し既存店も好調



すららネット (3998)

オンライン学習教材で高成長

すららネット(3998)は昨年12月18日にマザーズに上場した直近IPOで、す上のフシとなっていた3700円を明確に上抜き、上場2日目に付けた最高値4400円奪回に向かっていた。インターネット環境の向上やスマートフォンの普及を背景に、オンライン学習教材「すらら」が学習塾に加え、学校法人向けも私立から大学や公立校に採用が拡大、年率20%ペースの増収を続ける。集計中の17年12月期は新サービス開発やコンテンツ・システム投資負担を加味して、営業利益1億300万円(前期比26.9%増)と大幅増益を計画しているが、3Qの進捗率が90.0%に達し上振れ着地が濃厚。Webや海外展開による採用拡大効果もこれからは収益拡大に拍車がかかる。(さ)

すららネット(3998)は昨年12月18日にマザーズに上場した直近IPOで、す上のフシとなっていた3700円を明確に上抜き、上場2日目に付けた最高値4400円奪回に向かっていた。インターネット環境の向上やスマートフォンの普及を背景に、オンライン学習教材「すらら」が学習塾に加え、学校法人向けも私立から大学や公立校に採用が拡大、年率20%ペースの増収を続ける。集計中の17年12月期は新サービス開発やコンテンツ・システム投資負担を加味して、営業利益1億300万円(前期比26.9%増)と大幅増益を計画しているが、3Qの進捗率が90.0%に達し上振れ着地が濃厚。Webや海外展開による採用拡大効果もこれからは収益拡大に拍車がかかる。(さ)

18年12月期収益拡大に拍車

※チャートは日足

企業レター



新型名阪特急イメージ

「新型名阪特急」を新造 日本初全席バックシェルを導入

近鉄GHD
この次世代特急は「くつろぎのアップグレード

近鉄グルー
プホール
ディングス
(904
1)傘下の
近畿日本鉄
道は沿線の
2大都市で
ある大阪と
名古屋間を
運行する次
世代の特急
として、
「新型名阪
特急」を新
造すると発
表した。

「をテーマに、日本初となる全席バックシェルを備え、座席の前後幅を広く確保するなど、車内の居住性を従来から大幅にグレードアップし、名阪間のビジネス、観光、お出かけなど多様な用途のお客さまに最適な移動空間を提供する。「新型名阪特急」は6両8編成、8両3編成の合計72両を製造し、順次名阪特急に投入する予定。

日本トリム

合併症発症を41%抑制 血液透析療法「電解水透析」

日本トリム(6788)は国立大学法人東北大学慢性腎臓病透析治療共同研究部門と共同で、水素を付加した血液透析療法「電解水透析」において患者の死亡数および主な死因となる合併症発症の抑制を示唆する論文を発表し、1月10日にNature出版グループ

が発行する英国科学誌「Scientific Reports」に掲載された。現在、国内の透析患者数は32万人を超え、年々増加しており、国の医療費を増大させている。日本透析医学会発表では、透析患者の死亡率は5年で39.2%、10年

「Wホテル」21年大阪に 斬新で革新的なデザイン

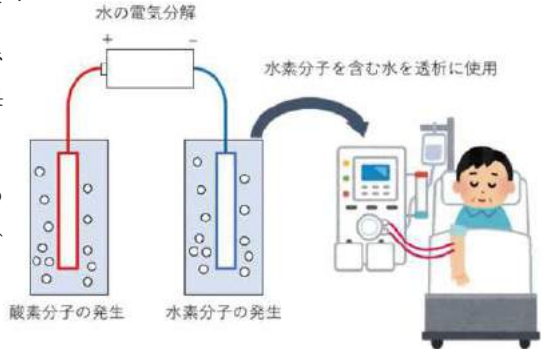
積水ハウス
ス(1928)は、マリオット・インターナショナル(米国メリーランド州)が開発するブランドのひとつ、「W(ダブリュ)ホテル」を、2021年、大阪に新たな

とを発表した。マリOTT・インターナショナルの長年のパートナーである積水ハウスが所有する同ホテルは、日本初進出となるホテルブランドで、27階建ての新築のホテルとなる。Wホテルの最大の特徴である個性溢れるデザインを



W O S A K A 外観イメージパース

取り入れ、「W O S A K A」は、スイートを含む337の客室、レストラン、バーなどを備え、斬新で革新的なホテルとして大阪・南船場に誕生する。
このホテルは、観光が日本の成長戦略の柱、地方創生の切り札であるとの認識のもと、拡大する世界の観光需要を取り込み世界が訪れたいくなる「観光先進国・日本」の実現に寄与していく。



電解水透析システムの概要

で64.1%(2015年末データ)、その主な死因は心脳血管合併症とさ

れている。今回の研究は国内7施設、患者309名を対象とし、水素を付加した血液透析療法「電解水透析」(161件)と通常透析(148件)の予後を比較する臨床試験を2011年から5年間実施した。その結果、電解水透析治療を行うことで、死亡および心臓血管病(うつ血性心不全、虚血性心疾患、脳卒中、虚血による下肢切断など)の発症リスクが、通常透析と比べ41%抑制されたことを確認した。

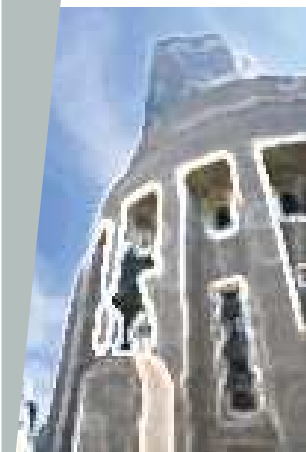
星野三太郎の株街往来

～野菜高騰の理由～

筆者は週末の土日に食料品をまとめて購入しているが、あまりに高くて驚くのが野菜だ。農水省が今月10日発表した価格動向調査では、1キロ当たりの価格が平年に比べて、レタスが約2・4倍の1230円、キャベツは2・1倍の326円となり、ダイコンとハクサイも約2倍の高値となっているそうだ。

サラダにレタスは欠かせないが、これだけの高額だと誰もが買えない価格だろう。デイスカウトスーパーなど複数の店を比べて安い店舗で買うのは当然だが、おでんや鍋料理を気軽にできなくなった。天候不順などが高値の理由だそうだが、株式市場でも一時期話題になった植物工場もコストがネックとなっているのか、野菜の安定供給の救世主になっていない。

景気が回復して小売店の月次売上高も伸びているが、知人の話を聞いても実感が湧かないという声が多い。野菜の高騰もその理由の一つだろう。異常気象の影響は世界各地で深刻で今後、価格が下落しない可能性だってある。こればかりはAIでも解決しない。やはり最大の課題は、化石燃料の大量消費などによる人類の長年のツケを払うことだ。



華麗なボールキック合図に開幕宣言！ ユニバーサル・クールジャパン 2018

企業レター



キャプテンに澤 穂希さんが就任

まさに自身も日本が世界に誇るクールである、サッカー界のレジェンド澤穂希さんが、「ユニバーサル・クールジャパン 2018」のキャプテンとしてオープンイング・セレモニーにサプライズ登場。会場から盛大な歓声があがった。澤さんの「日本のクールを、もっとアツく！『史上最大』のユニバーサル・クールジャパン、キックオフ！」という宣言と華麗なボールキックを合図に、「史上最大」のクールジャパンで展開する4ブランドが姿を現すと、会場は紙吹雪に包まれ、特別に招待されたゲスト約500名とともに開幕宣言をした。

「ユニバーサル・クールジャパン 2018」は「フアイナルファンタジーXRライド」、「名探偵コナン・ワールド」、「モンスターハンター・ザ・リアル」に加えて、3月16日からは「美少女戦士セーラームーン・ザ・ミラクル4-D」が期間限定で開催される。

「ユニバーサル・クールジャパン」は、19日の「ユニバーサル・クールジャパン」は、1月19日の「ユニバーサル・クールジャパン」を先駆けて、オープニングに先駆けて、内外へ発信するというイベントの趣旨に賛同し、

「ユニバーサル・クールジャパン」は、18日12時30分頃、オープンイング・セレモニーとプレビューを開催した。日本が世界に誇るエンターテイメント・ブランドを集結し、「日本のクール」の魅力を圧倒的なスケールとクオリティで国内外へ発信するというイベントの趣旨に賛同し、

